

令和5年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	仁政会		
事 業 名	先進地視察	大分県	豊後大野市
事 業 区 分	①研究研修	②調 査	

1 上田市での課題と研修・調査の目的

サウナで街おこしをするシティープロモーションの取組みの調査・研究をした。

2 実施概要

実施日時	視察先	大分県	豊後大野市
令和 5年 7月 6日 9:15 ~ 13:00	担当部局	商工観光課 議会事務局	黒木副主任 後藤事務局長
報 告 内 容	1 市の概要 大分県の南西部に位置し、宮崎県と接する。大野川の中上流域にあり、盆地上の地形を成している。農業が基幹産業で、大野川流域の水田地帯や整備された畑作地帯を有し、米、葉たばこ、里芋、ピーマンなどの野菜の栽培・肉用牛などの畜産が盛んである。阿蘇山噴火でできた、柱状節理がいたるところに見られ、市域全域が日本ジオパークに認定されている。		
	2 市の特徴 ・大分県にありながら、温泉がない ・九州で唯一、ユネスコ・エコパークと日本ジオパークに認定されている ・川野市長が全国に先駆けて「サウナのまち宣言」をして、町おこしを実践している ・農業産出額 103.2億(上田市は87億) ・人口 34,700人余 ・面積 603.14k㎡		
	3 視察事項について ① サウナのまち宣言の取組状況について調査する。 ② サウナで町おこしの仕掛人、高橋ケン所長(おんせん県いいサウナ研究所)と面談し、取組みの実態を現地で調査する。 ③ サウナ、ととのうを体験して、観光資源の魅力を調査する。		

* 視察先の写真等がある場合は添付のこと

- (1) サウナのまち宣言について
他県出身者の高橋ケンさんの「サウナのまち」をしませんか？の熱い提案に対して、市長がのり良くいち早く理解して、おんせん県いいサウナのまちを宣言し、2020年3月に研究所を設立。市内5ヶ所で立ち上げ、今期4ヶ所オープンを予定して、事業の推進を図っている。
- (2) 宣言後の具体的な成果について
- ・1年目：834人、2年目：4,214人、3年目：約8725人と、利用者数が年々着実に増加しており、全国のサウナファンが訪れるまちとなっている。
 - ・おんせん県いいサウナ研究所主催でサウナ万博を開催（参加者：50名、NHK取材）
 - ・令和3年、第2回サウナ万博 in 豊後大野開催（参加者：県内外より150名）
 - ・令和4年、旧伐採木の有効活用に関する連携協定を締結し、燃料の地産地消産業振興に寄与する。
 - ・令和4年3月、サウナ飯キャンペーンを実施。（市内店舗登録数：46店舗）
- (3) 本プロジェクトにおける行政側の支援について
- ・コンテンツ形成及び全国認知を目指して民間事業者に声がけをし、協議会を発足サウナのまち全国認知度をアップさせた。
 - ・サウナのまち誘致キャンペーンを実施。（令和4年11月～令和5年3月）
 - ・主にコロナ支援金を活用し、アウトドア・サウナ施設など整備事業補助金開始
 - ・令和5年度、当初予算、サウナのまち推進事業委託料（600万円）、アウトドアサウナ整備事業補助金（150万）
 - ・プロモーション事業の展開（行政+観光協会+民間が連携、一体となってサウナのまちのプロモーションを実施）
- (4) 地域の皆様の協力をどのように取り付けたか？について
仕掛人の高橋さんに地域の有力者が支援・協力して下さったことが事業推進の原動力となった。（本気で取り組めば誰かが助けてくれる事例）
- (5) まとめ
- 大分県にありながら、「温泉のないまち」の生存戦略として、他県出身の仕掛人の提案を、首長が即・直ちに採用して、事業を推進する姿は、市長の感性の高さ、シティプロモーションを通じて、町のネーミングバリューを上げて、他の自治体との差別化を図っている姿は、多くの観光資源を有しながら、ほとんどシティプロモーションができていない上田市には実に参考となる実践例であることを強く感じました。

* 視察先の写真等がある場合は添付のこと

- 上田市政においてもよく言われていることであるが、行政が、よそ者、バカ者、若者の提案に真に向き合っていく姿勢、職員の皆さんの進取、新施策に取り組む姿勢、組織風土の改革に期待したいと思います。
- 最後に、シティプロモーションを行う上で、SNS やメディアの活用の重要性について改めて認識いたしました。数多く経験して参りました行政視察で初めてメディア(大分放送)の取材を視察研修の初めから終わりまで受けたことに加え、「里の旅リゾートロッジきよかわ」において、アウトドアサウナを体験し、清流につかって大自然を満喫した後、サウナめしとサウナスイーツを食する中で、個人・団体問わず若い利用者さんが多く、皆さんが SNS で発信していることに驚きました。
- フィンランドとの姉妹都市提携など、この取組み事例のさらなる進化の可能性を大いに感じることができました。/